

オンデザイン  
が選ぶ

# 建築を、ひらく 24冊

## まちにでてみよう



優れた建築はまちの見方を変えてくれる力もちます。まちができる遥か前の東京の来歴を解き明かしたこの本も、そんな豊かな視点を与えてくれます。 勝 邦義

「アースダイバー」中沢新一  
講談社、978-4062128513



なかなか春が来ず人々が沈んでいるときに、子供の提案で、建物や街中にある色々なものに花が咲いた姿を描くお話です。「街中を巻き込む」魅力にあふれています。 佐治由美

「はるがきた」ジーン・シオンほか  
主婦の友社、978-4072742754



建築やまちが、スクリーンの向こう側で物語の舞台や風景として新しい価値や意味をまとっているのは、その場所が皆にひらかれ愛されているからではないでしょうか。 大沢雄城

「映画空間400選」石川初ほか  
INAX、978-4872751673



外にでるのが楽しくなる一冊。 西田 司

「建物のあいだのアクティビティ」ヤン・ゲール  
(旧書名：屋外空間と生活のデザイン)  
鹿島出版会、978-4306052581



建築家の猫が、まちの中で「造形」「共生」「形」「美」について思慮深く考えます。日常の視点を見直したり、問いかける意味/問われる意味を考えさせられます。 後藤典子

「猫の建築家」「失われた猫」森博嗣ほか、光文社  
978-4334923709 / 978-4334927929



物語の舞台として語られる都市が、不思議なエピソードと渾然となり、よりリアルな実像として読むものに凝ります。 岩崎 修

「十二の遍歴の物語」ガルシア・マルケス  
新潮社、978-4105090067 (品切れの可能性)

## 場所をつくろう



持ち運びができる最小の建築であるテントを担ぎ山の上で1泊すると、本当に建築に必要なものは何かを身をもって体験できます。 稲山貴則

「テント泊登山の基本」高橋庄太郎  
山と溪谷社、978-4635043366



あまり裕福ではない母娘が、母親の思いつきで、世界で一番素敵なアパートに住むことになる物語。自分たちの生活がオープンになると建築の公共空間がさらにまちにひらかれている感覚になるスリルがあります。 湯浅友絵

「魔法があるなら」アレックス・シアラー  
PHP研究所、978-4569664828 (品切れの可能性)



空から見た都市のどこかに、ひらくヒントが隠されている気がする一冊。大西康隆

「発光都市TOKYO」野口克也  
三オブックス、978-4861992605



建築家がつくったのではない世界中の建物が写真で紹介されている本です。地域や文化、風土に合わせた様々な工夫や、脈々と続く人間の日々の営みの延長には、なんとも言えなく美しい魅力があります。 西澤正子

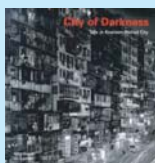
「建築家なしの建築」B・ルドフスキー  
鹿島出版会、978-4306051843

## 日常を見直そう



建築ってなんだろう？とおもうとき、人の生活について、考えてみたくになります。今の私たちの生活だけでなく、かつての私たちの生活についても、知りたくくなります。 中川エリカ

「さとやま」鷺谷いづみ  
若波書店、978-4005006861



香港にかつて実在した九龍城の写真集。空間や都市は人間の生活を制約するものであると同時に、それを乗り越えていく人の可能性に気がさせられます。 小泉瑛一

「City of Darkness: Life in Kowloon Walled City」Ian Lambot  
Watermark Publications、978-1873200131



生活の中のささやかな断片が集合して放つ世界感、小さな実践からこそ価値の転換ができるんだというメッセージをさわやかに発信しています。 萬玉直子

「Plans for other days」Janfamily  
Booth-Clibborn、978-1861542892



自宅の前に家財道具を全て並べて撮影した写真集。アメリカ人写真家の前にひらかれた世界中の家族の日常からは、民族を超えて家族の強さを感じられます。 澤井紗耶加

「地球家族」ピーター・メンツェル  
TOTO出版、978-4887061057



「あらいぐまとなぞミたち」大友康夫  
福音館書店、978-4834005219  
「The Brambly Hedge Treasury」Jill Barklem  
Collins、978-0001935969



どちらの本も、絵本の中で、動物たちが暮らす家がとても楽しそうに書かれています。様々な生活や活動を発見して想像できるわくわく感、建物を考える面白さをみんなにひらきます。 栗田久美子

「100かいたでのいえ」「ちか100かいたでのいえ」  
いらいとしお、偕成社、  
978-4033315409 / 978-4033316604



住まうことは夢です。  
西田勝彦



社会的課題を解決するためのデザインの事例を世界中から集めている一冊。「建築家の職能をひらく」ことで、もっと世界を良くすることができるはずです。 小泉瑛一

「Design Like You: Give a Damn」  
Architecture for Humanity  
Metropolis Books、978-1933045252



何気ない生活の、大切な記録や跡は、暮らしの場に確かに残されている、と気づかされます。時間の流れや蓄積、ハードにとどまらぬ人へ寄り添う距離の身近さを感じます。 神永侑子

「つみきのいえ」平田研也・加藤久仁生  
白泉社、978-4592761310

## 身の回りから取り組もう



働き方(生き方)が多様化する昨今において、ワーク・ライフ・バランスから、建築空間の在り方や生活空間を「ひらく」ことを考えるきっかけとなった一冊。 一色ヒロタカ

「働き方革命」駒崎弘樹  
筑摩書房、978-4480064868



「ソーシャルデザイン」をテーマに素敵な未来をつくるためのヒントが詰まっています。さあ日常を楽しむアイデアをみんなで探しましょう！ 海野太一

「ソーシャルデザイン」グリーンズ  
朝日出版社、978-4255006222



弱い存在だった商店が集まることで、近代になってはじめて誕生した商店街。商店街や中心市街地の問題に関わるようになると、組織や仕組みが「閉じた」ことで衰退を迎えているのかわかります。 勝 邦義

「商店街はなぜ減るのか」新 雅史  
光文社、978-4334036850